

令和4年4月、『親支援カウンセリング』より初めのご挨拶．．．

付属幼稚園の保護者の皆様、ご入園とご進級．．．本当に本当におめでとうございます♡  
保護者様の心のサポートとして、親支援カウンセリングをさせて頂いております中島祐子です。  
海外ではカウンセリングというと、風邪で内科にかかったり身体のマッサージに行くのと同様に、心のメンテナンスをする方法としてごく一般的な保険適用もある分野です。けれども、心の分野のサポートが全般的に遅れている日本では、まだまだ気軽さが少ない印象かもしれません。また、カウンセラーの人となりかわからないと、大切に繊細な心の内を話すことはとてもハードルが高く、申し込みをする時点から相当な勇気が要ることではないか．．．と思うのです。

『ほっと通信』では、私自身、カウンセラーである前にひとりの悩み多き人間であることを据えて、少しでもありのままの人となりをお伝えしたく、日々思い巡らしているささやかなことをご一緒に分かち合えたら．．．という思いで綴らせて頂きます。通信の中で一言でも一文でも、心に響いてきたり、問いを持ったり、心揺さぶられたりしたならば、もしかしたら、あなた自身の直感が何か大切なことを知らせようとしてくれているのかもしれない．．．困っていることはもちろん、通信の感想を話しにきてくださっても大歓迎です。（感想メッセージも大募集!）

また、この度リニューアルされた付属幼稚園ホームページからも、当園カウンセリングにこめる想いやこれまでお話にいらして下さった保護者様の感想、過去のほっと通信などが手軽に見れるようになりました。ふと気が向いた時、気楽に覗いてみて下さいね！

私自身、ユニーク派の3人の子どもが、付属幼稚園でお世話になりました。末娘の黄組担任の先生が今の山崎園長先生です～♡ここで付属幼稚園とのご縁を振り返ってみると．．．第一子の時、浜松出身でない私はどの幼稚園が息子に合うのか検討がつかず、たまたま公園で仲良くなった方の上の二人のお子さんが付属幼稚園に通われていて．．．「子どもの気持ちを大切にしてくれて、自然とのふれあいもいっぱい、親子でワクワクできる幼稚園だよ」って、手書きのクラス通信の分厚いファイルを貸して下さい．．．何か直感でピン！と来るものがあり、迷わず決めたのでした！今振り返ると、赤ちゃんの時から自分の世界や興味をしっかりと持ち、一筋縄ではいかなかったユニーク派の長男が、クラス通信から伝わってくる一人一人の個性や成長に寄り添うのびやかな園生活のもと、長男らしくイキイキ育っていけるイメージが湧いたからだったのだなあ～♪

あれから25年の歳月を経ても、3人の子ども達がお世話になった頃と同じ、先生方の個性溢れる手書きのクラス通信！どろんこ遊び！運動会の演目！電車作り～電車ごっこ！コマ回し！観音山、手作りの発表会...etc 変わらない活動の中に、脈々と受け継がれている子どもの『生きる力』と『工夫を産み出す力』への信頼があること．．．子育て真最中でいっぱいだった当時には気づけなかったこの園の素晴らしさを、今更ながらしみじみと感じさせて頂いています。

今年度も、先生方の子ども達の成長への揺るぎない信頼と同じ思いをもって、カウンセリングに来談される保護者さま自身が確かに持っている『自分なりに困難を乗り越えていく力』を信頼し、共に歩ませて頂きたいと願っています。また、ほっと通信やほっと広場を通して、皆さまと心と心の触れ合いができますよう．．．  
どうぞよろしく願いいたします♡

（心の支援員、中島祐子）

